

プログラミング教室のテクノロ



# プログラミングの 世界の歩き方

## 「キャッシュ」



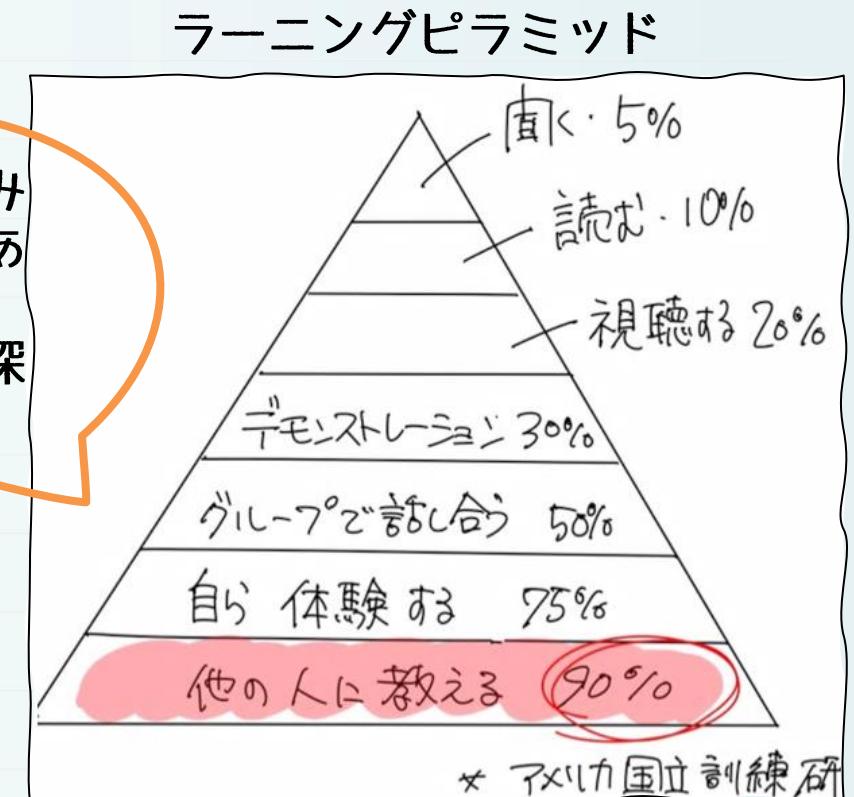
# プログラミングの世界を歩こう！

プログラミングの世界を知るにはその世界で使われていることばを知ることが大切だ。

これはプログラミングに限らず、スポーツでも音楽でも何かを習得するには、その世界のことばを知ることから始まるよ。



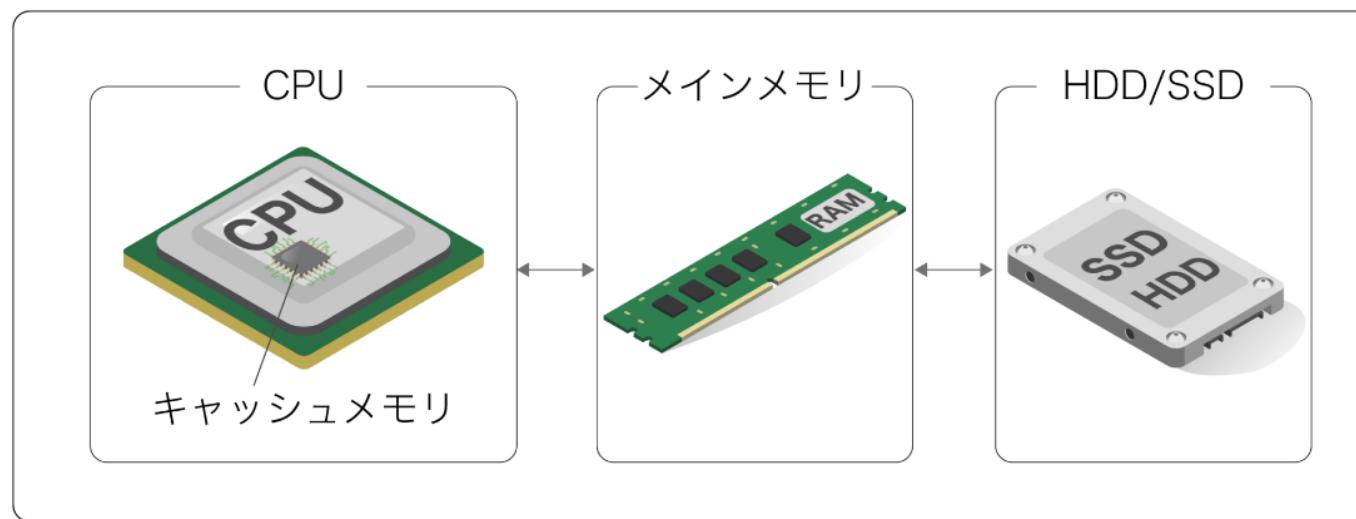
学んだことはみんなに教えてあげよう！  
もっと理解が深まるよ！



# キャッシュって？

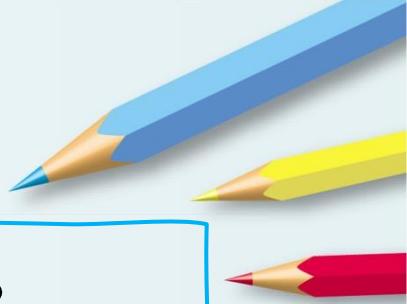


キャッシュとは「一度使ったものを保存しておき次回以降の速度アップに役立てる」方法のこと。キャッシュ(cache)は英語で「貯蔵所」「隠し場所」という意味があり、一度読み込んだ内容・情報を一時的に保存しておくことで、次回閲覧する際に素早く読み込むことができる。



本棚から必要な本を出してデスク上に置いておけば、次にその本が必要になったときすぐに使える、というイメージでキャッシュを理解しよう。

# キャッシュの種類



キャッシュにはいくつかの種類があることを知っておこう。

- ・ブラウザキャッシュ：ブラウザで一度取得したデータを保存したもの
- ・サーバーキャッシュ：過去に作成したファイルがサーバーに保存されたもの



キャッシュの仲間に「Cookie（クッキー）」というものがあるが、これは保存するデータ内容に個人情報が含まれる点がキャッシュと大きく異なる。

# Webページの表示速度を上げる



ブラウザでWebページを見るとときにキャッシュが活躍している。インターネットでWebページを閲覧した際、一度アクセスしたページのデータをブラウザで一時的に保管し、2回目以降にアクセスした際、表示スピードを上げてくれる。



ブラウザはWebサイトが表示されるたびに、CSS、JavaScript、imgなどのファイルをサーバーに読み込みにいく。

サーバーを経由するたびに時間がかかってしまうので、それなりにWebサイトを表示するのに時間がかかってしまう。

キャッシュを設定しておくことで、1度読み込んだファイルをブラウザ側で保持することができる。

サーバーを経由する必要がないので、すばやくWebサイトが表示される。

特に画像などが多いページでは有効に機能し、ブラウザキャッシュとサーバキャッシュが活用されている。

# キャッシュのデメリット

便利なキャッシュにも以下のデメリットがあることを知っておこう。

- ・更新された内容が即反映されない場合がある

Webページの情報が更新された際、以前のキャッシュが残っていると、古い内容が表示されるケースがある。

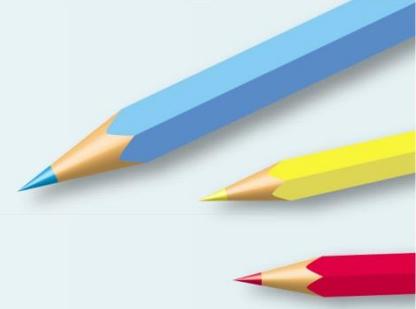
解決策としては、「F5」キーを押すなどしてページを読み込み直せば良い。

- ・キャッシュが貯まりすぎると動作が遅くなる

表示速度を上げてくれるキャッシュも、増えすぎると動作や容量を圧迫してしまう。

ブラウザやアプリなど、それぞれの手順に従って定期的にキャッシュをクリアしよう。

×モ



# プログラミング教室の テクノロ



なまえ：